




## 従業員

SDGs項目	ターゲット	
	4.4	2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。
	5.b	女性の能力強化促進のため、ICTをはじめとする実現技術の活用を強化する。
	8.5	2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。

## 「社内行事」

法令や社内ルールを遵守するという高い意識を持つ社員を育成するために、社内の定期研修会や資格取得支援制度による資格者の育成に取り組んでいます。

また、社内行事や福利厚生制度の充実により、社員とその家族が豊かな生活ができるように取り組んでいます。

## 「業務効率化、ICTの活用」

産廃受入れ管理システムと廃油回収管理システムの導入により、業務の一括管理による効率化と、産廃と原料の安定した管理を行い、バランスの取れた収集運搬及び回収・受入管理を行います。

【全体安全会議（2回/年実施）、全体安全会議以外に部署別研修は定期的実施】



全体会議の際に倉敷市消防局より来社頂き、ダミーやAEDを用いた普通救命講習を実施。



車両の死角について、車両の周囲にロープを張って、危険予知の必要性を訓練。



## 「働き方改革の推進」

この度、当社ではオイルエレメント自動切断装置を新たに導入しました。従来の手動での作業に比べて、自動切断装置による機械制御により、作業への負担軽減が可能となり、性別、年齢等を問わない事業を構築することができます。

このような装置の導入により、働き方改革を推進してまいります。



## 地域社会

SDGs項目	ターゲット	
	2.4	2030年までに、生産性を向上させ、生産量を増やし、生態系を維持し、気候変動や極端な気象現象、干ばつ、洪水及びその他の災害に対する適応能力を向上させ、斬新的に土地と土壌の質を改善させるような、持続可能な食糧生産システム確保し、強靱（レジリエント）な農業を実践する。
	11.6	2030年までに、大気の水質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。
	11.b	2020年までに、包含、資源効率、気候変動の緩和と適応、災害に対する強靱さ（レジリエンス）を目指す総合的政策及び計画を導入・実施した都市及び人間居住地の件数を大幅に増加させ、仙台防災枠組み2015-2030に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う。

### 「農業事業としての果樹栽培」

岡山県笠岡市の笠岡湾干拓地にて、約50aのハウスでコーヒー栽培を始めました。

国内では栽培が難しいコーヒーの木を、無農薬、化学肥料不使用にて栽培しています。

ハウス内の状態を、常に監視できる装置を導入し、常にコーヒーの木に適切な環境を保ち、省エネ省資源、省力化に努めます。

地域製品の開発と、新たな事業展開による地域の雇用への貢献として取り組んで参ります。

今後は、休耕農地等の有効利用にも取り組んで行きます。



コーヒーの花  
(2022.4月撮影)



コーヒーチェリー  
(2021.12月撮影)



精選後のコーヒー生豆  
(2022.2月撮影)

### 「地域の行事への参加」

定期的な地域の清掃活動に参加し、地域の環境保全に対して継続的に貢献しています。

地域の行事に積極的に参加し、地域の皆様との交流を深めます。






2020.5.27

地元行政から依頼の、不法投棄現場の清掃作業（一社）岡山県産業廃棄物協会の活動に参加しました。  
(倉敷市鷺羽山スカイライン周辺)

### 「大気の水質、廃棄物のリサイクル推進」

工場内のガス検知システム（可燃性ガス、硫化水素、シアン化水素）と集塵装置により、作業環境の管理と大気の水質への注意を払っています。

SDGs項目	ターゲット	
	3.6	2020年までに世界の道路交通事故による死傷者を半減させる。
	3.9	2030年までに、有害化学物質、並びに大気、水質及び土壌の汚染による死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる。
	7.1	2030年までに、安価かつ信頼できるエネルギーサービスへの普遍的アクセスを確保する。
	7.2	2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
	7.3	2030年までに、世界全体のエネルギー効率の完全率を倍増させる。
	12.2	2030年までに、天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。
	12.5	2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

#### 「確実な製品分析、安全な運搬体制」

製品の品質については、受入れ前のサンプリングによる分析、検討、製品の品質検査など、徹底した品質管理を行い、安心できる製品とサービスを提供します。

廃油の回収、製品納品車両、回収車両には、デジタルタコグラフ、緊急時対応用イエローカードも備えて、緊急時の対応に備えています。



蛍光X線分析装置



車内、車外記録及びバックカメラの装着





塩素・硫黄分析装置



デジタルタコグラフでの運行管理

## 取引先

SDGs項目	ターゲット	
	12.2	2030年までに、天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。
	12.5	2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
	16.5	あらゆる形態の汚職や贈賄を大幅に減少させる。

### 「廃棄物の原料化、燃料化」

今までは、焼却処理後に埋め立て処分をされていた廃棄物を、性状別に対応できる4種類の混合調整施設とその他の設備を使い、燃料化、原料化することにより再資源化し、CO2の削減や埋立処分量の減量化を進め、他社との差別化を図ることで、公正な競争を行います。

また、振動ふるい機と遠心分離機による、高純度の油を精製した高品質な再生重油を製造し、品質による他社との差別化を図ることで、公正な競争を行います。

車両系産業廃棄物の中でも、処理雑物となるオイルエレメントを、廃油とフィルターと金属に自動で分離できるオイルフィルター自動切断装置を導入し、貴重な資源を有効にリサイクルしてまいります。



混合調整施設：混合槽（リサイクル燃料）



遠心分離施設（再生重油）







オイルフィルター自動切断装置  
(2021年1月事業開始)

### 「誠実で公正な取引への取組」

取引先のみならず、誠実で公正な取引を行う為、従業員一人一人が自覚をもって行動し、競合他社とも、公正な競争を行うことを考えて行動します。

## 自然環境

SDGs項目	ターゲット	
	7.1	2030年までに、安価かつ信頼できる現代的エネルギーサービスへの普遍的アクセスを確保する。
	7.2	2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
	7.3	2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。
	9.4	2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。全ての国々は各国の能力に応じた取り組みを行う。
	12.5	2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、破棄物の発生を大幅に削減する。
	13.3	気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。

### 「使用済ソーラーパネルリサイクル事業」

太陽光発電は、気候変動問題への危機意識、エネルギーセキュリティ向上への期待により、導入が急速に進んでおります。一方で、FIT制度の開始により設置された、太陽光パネルの製品寿命が予測される2040年頃にかけて、廃棄される使用済太陽光パネルが年間80万トンとも言われています。

弊社では、リユースを含めた使用済太陽光パネルの再資源化、適切な廃棄方法などのご提案により新しい価値を創造致します。また、環境に配慮した太陽光パネル解体設備の導入により、リサイクルを推進し、懸念される最終処分場のひっ迫に対応するための、資源の有効利用のみならず排出量の削減にも取り組み、社会問題を解決する事業を行って参ります。

### 「エコアクション21認証取得」

エコアクション21の認証を取得し、省エネルギーの推進、廃棄物の再資源化を積極的に推進することで、当社の事業を通じた地球温暖化防止、生物多様性の保全、資源の有効利用などの環境への配慮に取り組んでいます。

水道光熱費の省力化、グリーン商品の優先購入と使用材料のエコ商品を優先購入。

### 「業務のペーパーレス化」



業務のペーパーレス化と使用済コピー用紙の再利用を進めることで、紙資源の保全に取り組めます。

### 「大気汚染改善への取り組みと省エネ」

収集運搬車両について、エコドライブ運転を社内勉強会などで意識を統一する事で推進し、ディーゼル規制適合車の導入などを進めてまいります。



事務所および工場を、LED照明に変更済み。

SDGs項目	ターゲット	
	10.2	2030年までに、年齢、性別、障害、人権、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、すべての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。
	16.3	国家及び国際的なレベルでの法の支配を促進し、すべての人々に司法への平等なアクセスを提供する。
	16.5	あらゆる形態での汚職や贈賄を大幅に減少させる。

「コンプライアンス管理」

コンプライアンスチームによる日々の書類、手続き等のチェックを行い法令順守の徹底を行っています。  
 毎月1回の社内監査、社外監査にて、廃棄物の処理及び管理状況を確認。  
 社内の情報セキュリティシステムを構築し、各種情報に対する閲覧権限の厳格化などで、情報の漏洩防止、不正利用を防止しています。

「災害リスク管理」

近年の自然災害の多発などに備え、地域の廃棄物とリサイクルのサプライチェーンを守る為、BCP（事業継続計画）の取り組みを進め、令和2年12月に中小企業庁より認定を受けました。